

人間文化学部のカリキュラム・ポリシー

人間文化学部では、4年間の体系的な教育課程を編成するため、科目の大きな区分として[学部共通基礎科目][学科基礎科目][専門基幹科目][専門発展科目]の4つの科目区分を設け、以下のとおりカリキュラム・ポリシーを定める。

- [学部共通基礎科目]には、[教養科目][体育][外国語]の科目群を設ける。[教養科目]では、人間と文化、社会、自然のそれぞれの関わりについて基礎的な知識を身に付ける。[体育]では健康に対する理解を深め、体力増進を図る。[外国語]では、英語に次ぐ第2外国語を修得する。

- [学科基礎科目][専門基幹科目][専門発展科目]には、保育教育学科、地域文化学科の両学科の教育課程に応じた科目群をそれぞれ設け、人間と文化に関する広い視野と高い専門性を育成する。

保育教育学科のカリキュラム・ポリシー

- 1 科目区分[学科基礎科目]を設け、初年次教育及びキャリア形成を行う[ライフデザイン]科目群、保育教育職の基礎的リテラシーを養成する[言語リテラシー]科目群及び[情報リテラシー]科目群を配置する。
- 2 自ら課題を発見し探求する能力の育成を行うために、科目区分[課題の発見と探求]を設け、アクティブラーニングを通して課題意識に基づく自主的研究活動を推進するための科目を配置する。
- 3 人間と文化の魅力を、次世代を担う子どもたちに継承することができる表現力を育成するために、[課題の発見と探求]の選択科目として「表現研究(児童文化)Ⅰ・Ⅱ」「言葉研究(読み聞かせ実践)」のアクティブラーニング科目を設ける。
- 4 乳幼児期から児童期を通じた子どもの発達や学習過程についての高い専門性と考察力の育成を段階的に着実に行うために、選択科目を[専門基幹科目]と[専門発展科目]の2段階で編成し、科目区分[教育の基礎的理解に関する科目]等を配置する。また、教育の分野を超えた連携の力及び、障がいのある子どもに対応できる力を育成するため、[専門基幹科目]の中に、科目区分[福祉と養護の基礎理論][福祉と養護の内容に関する科目]を配置するとともに、[専門発展科目]の中に[特別支援教育に関する科目]の科目区分を設ける。
- 5 集団での協同的実践力の育成を行うことを目的として、4年間の教育課程を通し、実習体験活動やグループ演習を重視した指導を推進する。